



平成30年3月28日

産業振興課長 藤本 茂文  
TEL (082) 224-5638  
FAX (082) 224-5642

## ※ 工場立地動向調査結果

＜平成29年(1～12月)速報＞

～立地件数は対前年比減少、立地面積は対前年比増加。

工業団地内への立地件数及び立地面積の割合は、9年連続で50%を上回る～

中国地域の平成29年(1～12月)の工場立地動向は、立地件数が47件、立地面積が68.7haであった。前年と比較して、立地件数は14.5%の減少、立地面積は29.6%の増加となった。

【今期の立地動向のポイント】

( )内の数値は、前年の数値

### ポイント1 立地件数及び立地面積

中国地域の件数(研究所を除く)は、47件(55件)で、対前年比14.5%の減少となった。面積は、68.7ha(53.0ha)で、同29.6%の増加となった。

### ポイント2 県別の立地件数及び立地面積

県別件数では、鳥取県が9件(9件)、島根県が5件(4件)、岡山県が14件(15件)、広島県が12件(17件)、山口県が7件(10件)であり、島根県は前年を上回った。

県別面積では、鳥取県が8.3ha(5.8ha)、島根県が7.5ha(3.9ha)、岡山県が23.5ha(15.8ha)、広島県が18.5ha(13.0ha)、山口県が10.8ha(14.6ha)であり、鳥取県、島根県、岡山県、広島県は前年を上回った。

### ポイント3 業種別の立地件数及び立地面積

業種別では、「食料品」が8件(10件)と最も多く、次いで「輸送用機械器具」が5件(6件)、「プラスチック製品」及び「業務用機械器具」がそれぞれ4件(10件、0件)であった。

「食料品」は全体のうち、件数で17.0%、面積で25.0%を占めた。また、県別件数では岡山県で3件、鳥取県、広島県でそれぞれ2件、島根県で1件であった。

### ポイント4 工業団地内への立地件数及び立地面積

中国地域の工業団地内への立地件数は、29件(28件)で、立地面積は54.5ha(36.2ha)であった。

中国地域に占める割合は、件数では61.7%(50.9%)と全国平均40.6%と比較して高い水準となった。また、中国地域に占める立地割合は件数と面積ともに、平成21年より9年連続で50%を上回った。

※ 本調査は、工場立地の実態を把握するため、工場立地法(昭和34年法律第24号)第2条に基づき昭和42年から毎年(上期、通期)経済産業省が実施しているものであり、製造業、電気業(水力発電所、地熱発電所、太陽光発電を除く。)、ガス業及び熱供給業のための工場又は事業場を建設する目的として1,000㎡以上の用地(埋立予定地を含む。)を取得(借地を含む。)したものを対象<sup>※1</sup>に統計法に基づく一般統計調査として行っています。また、昭和60年からは研究所(民間の研究機関で、主として前記4業種に係る分野の研究を行うものに限る。)の用地も併せて調査しています。

なお、平成27年までの立地件数、立地面積の数値は確報値であり、平成28年の数値は速報値となっています。

注1 調査対象とみられる事業所等に調査票を配布し、回収の段階で調査対象外と判明した事業所及び調査拒否、回収不能分を除いたものについてとりまとめています。

注2 平成24年～26年については、独自に太陽光発電を除外し、再集計を行ったため、必ずしも過去の発表値と一致しない場合があります。

# 1. 立地件数及び立地面積

- 中国地域の平成29年(1~12月)の立地件数は、47件(55件)で、対前年比14.5%の減少となった。
- 面積は、68.7ha(53.0ha)で、対前年比29.6%の増加となった。  
1件あたりの立地面積は、1.5ha(1.0ha)で、同50.0%の増加となった。

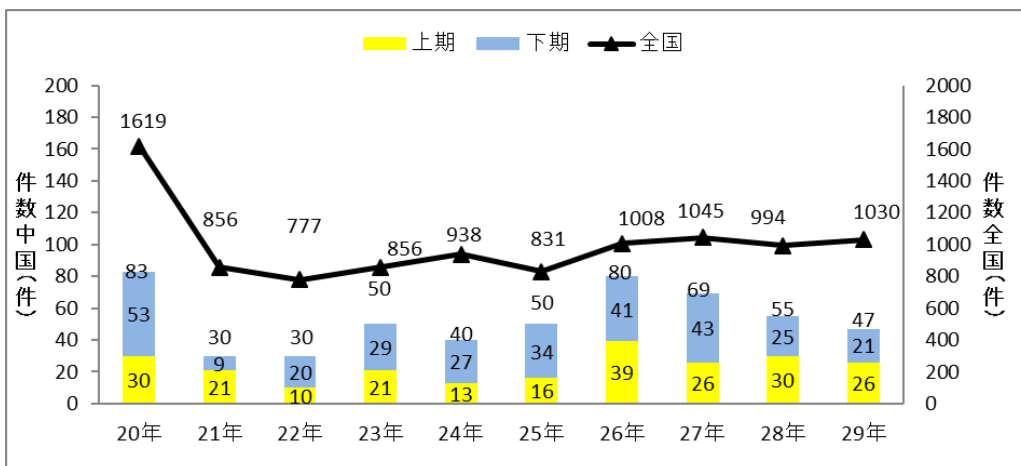
<表1 立地件数及び立地面積の推移 (件、ha、%)>

| 項目 | 23年     | 24年  | 25年  | 26年  | 27年  | 28年   | 29年  | 前年比増減率 |
|----|---------|------|------|------|------|-------|------|--------|
| 中国 | 件数      | 50   | 40   | 50   | 80   | 69    | 47   | ▲14.5  |
|    | 面積      | 61.1 | 47.7 | 59.4 | 82.7 | 106.1 | 53.0 | 29.6   |
|    | 1件あたり面積 | 1.2  | 1.2  | 1.2  | 1.0  | 1.5   | 1.0  | 50.0   |

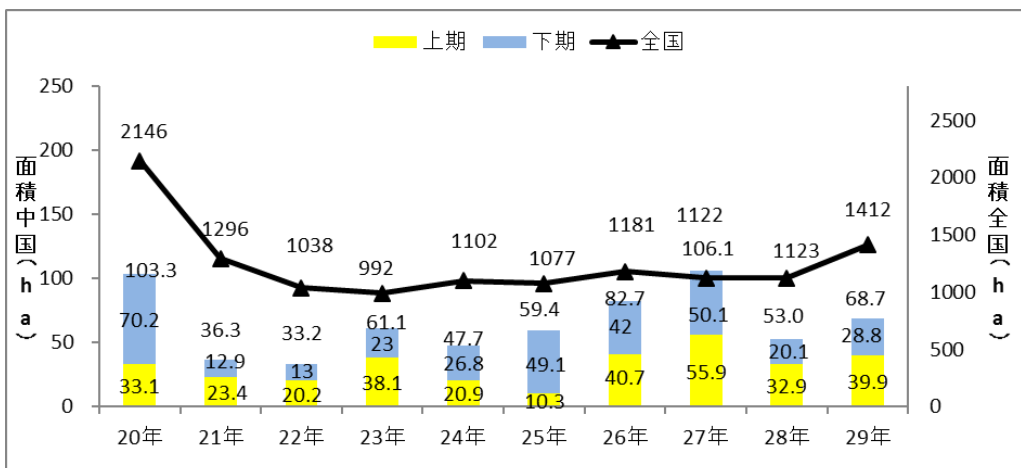
(注1) 四捨五入のため計算値と合計値が一致しない場合がある。

(注2) 平成24年~平成26年については、電気業のうち、太陽光発電施設を除いた数値を再集計した。

<図1 立地件数の推移(中国、全国)>



<図2 立地面積の推移(中国、全国)>



## 参考－１． 全国の立地件数及び立地面積の推移（電気業を除く）

- 全国の件数は、1,009件(992件)で対前年比1.7%の増加、面積は、1,228ha(1,122ha)で同9.4%の増加となった。  
また、全国の1件あたりの面積は、1.2ha(1.1ha)で同9.1%の増加となった。
- 中国地域の全国に占める割合は、件数で4.4%(5.5%)、面積で5.4%(4.7%)となり、件数は、対前年比1.1ポイントの減少、面積は、同0.7ポイントの増加となった。

<表2 立地件数及び立地面積の推移(件、ha、%)>

| 項 目        |         | 23年  | 24年   | 25年   | 26年   | 27年   | 28年   | 29年   | 前年比<br>増減率 |
|------------|---------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|
| 中国         | 件 数     | 50   | 40    | 48    | 78    | 68    | 55    | 44    | ▲ 20.0     |
|            | 面 積     | 61.1 | 47.6  | 51.5  | 78.2  | 103.6 | 53    | 65.7  | 24.0       |
|            | 1件あたり面積 | 1.2  | 1.2   | 1.1   | 1.0   | 1.5   | 1.0   | 1.5   | 50.0       |
| 全国         | 件 数     | 856  | 938   | 831   | 1,008 | 1,045 | 992   | 1,009 | 1.7        |
|            | 面 積     | 992  | 1,102 | 1,077 | 1,181 | 1,122 | 1,122 | 1,228 | 9.4        |
|            | 1件あたり面積 | 1.2  | 1.2   | 1.3   | 1.2   | 1.1   | 1.1   | 1.2   | 9.1        |
| 対全国<br>シェア | 件 数     | 5.8  | 4.3   | 5.8   | 7.7   | 6.5   | 5.5   | 4.4   | -          |
|            | 面 積     | 6.2  | 4.3   | 4.8   | 6.6   | 9.2   | 4.7   | 5.4   | -          |

## 2. 県別の立地件数及び立地面積

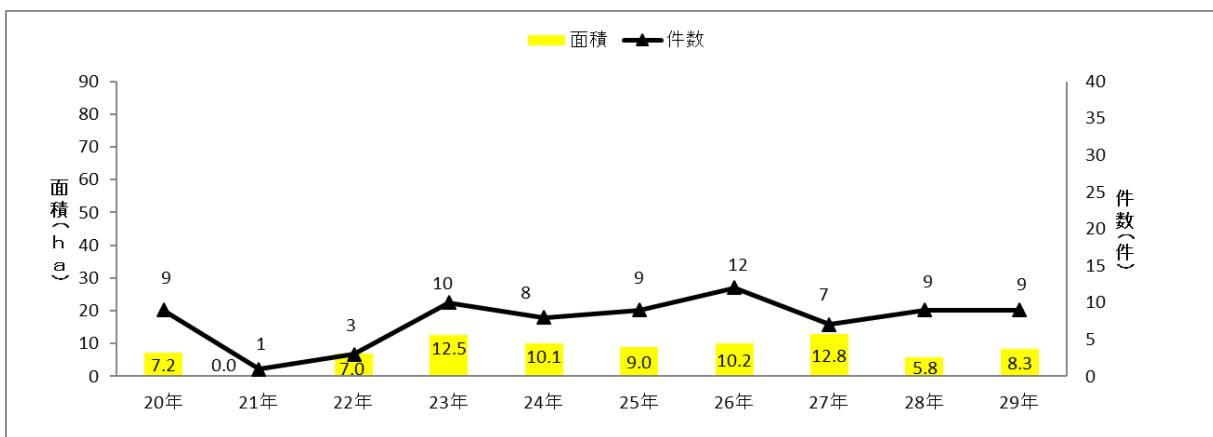
- 鳥取県では、件数が9件（9件）で対前年比と同じであり、面積が8.3ha（5.8ha）で同43.1%増となった。
- 中国地域における鳥取県の占める割合は、件数で19.1%、面積で12.1%となった。

<表3 鳥取県の立地件数及び立地面積の推移(件、ha)>

| 項目  | 20年 | 21年 | 22年 | 23年 | 24年  | 25年  | 26年 | 27年  | 28年  | 29年 | 前年比増減率 |      |
|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|-----|------|------|-----|--------|------|
| 鳥取県 | 件数  | 9   | 1   | 3   | 10   | 8    | 9   | 12   | 7    | 9   | 9      | 0.0  |
|     | 面積  | 7.2 | x   | 7.0 | 12.5 | 10.1 | 9.0 | 10.2 | 12.8 | 5.8 | 8.3    | 43.1 |

(注) 「x」は報告者の秘密保持のために秘匿にした箇所

<図3 鳥取県の立地件数及び立地面積の推移>

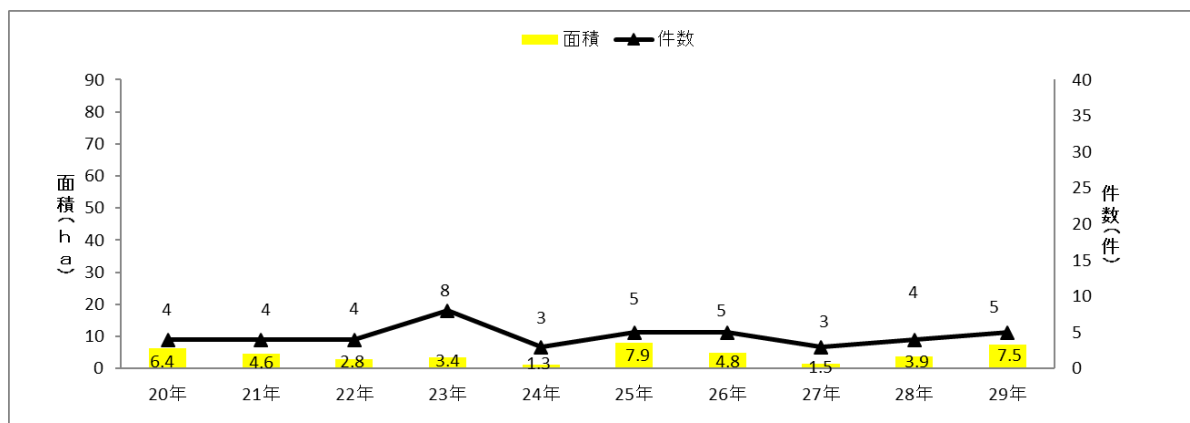


- 島根県では、件数が5件（4件）で対前年比25.0%増、面積が7.5ha（3.9ha）で同92.3%増となった。
- 中国地域における島根県の占める割合は、件数で10.6%、面積で10.9%となった。

<表4 島根県の立地件数及び立地面積の推移(件、ha)>

| 項目  | 20年 | 21年 | 22年 | 23年 | 24年 | 25年 | 26年 | 27年 | 28年 | 29年 | 前年比増減率 |      |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|------|
| 島根県 | 件数  | 4   | 4   | 4   | 8   | 3   | 5   | 5   | 3   | 4   | 5      | 25.0 |
|     | 面積  | 6.4 | 4.6 | 2.8 | 3.4 | 1.3 | 7.9 | 4.8 | 1.5 | 3.9 | 7.5    | 92.3 |

<図4 島根県の立地件数及び立地面積の推移>

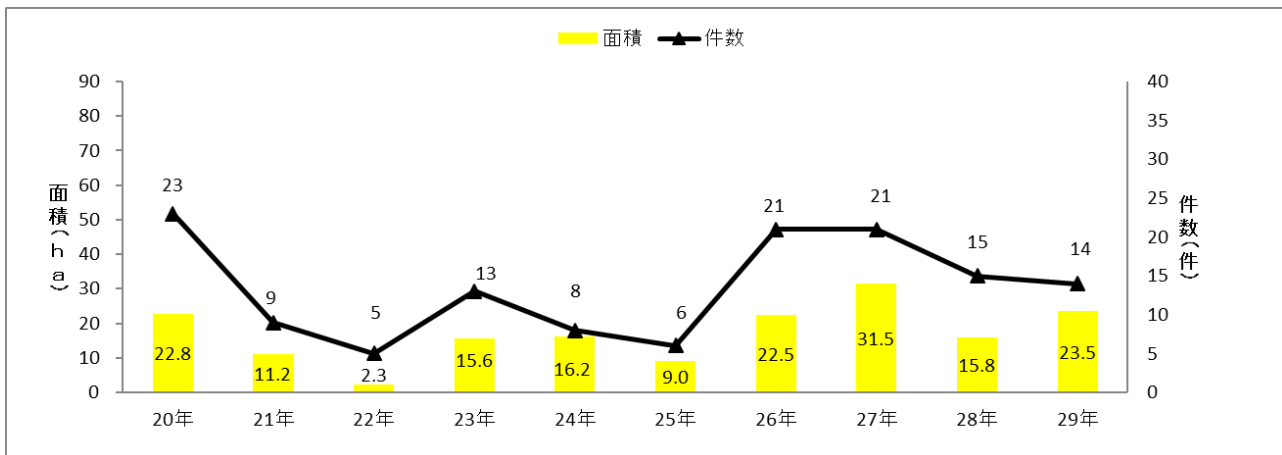


- 岡山県では、件数が14件(15件)で対前年比6.7%減、面積が23.5ha(15.8ha)で同48.7%増となった。
- 中国地域における岡山県の占める割合は、件数で29.8%、面積で34.2%となった。

<表5 岡山県の立地件数及び立地面積の推移(件、ha)>

| 項目  | 20年  | 21年  | 22年 | 23年  | 24年  | 25年 | 26年  | 27年  | 28年  | 29年  | 前年比増減率 |
|-----|------|------|-----|------|------|-----|------|------|------|------|--------|
| 岡山県 | 23   | 9    | 5   | 13   | 8    | 6   | 21   | 21   | 15   | 14   | ▲6.7   |
| 面積  | 22.8 | 11.2 | 2.3 | 15.6 | 16.2 | 9.0 | 22.5 | 31.5 | 15.8 | 23.5 | 48.7   |

<図5 岡山県の立地件数及び立地面積の推移>

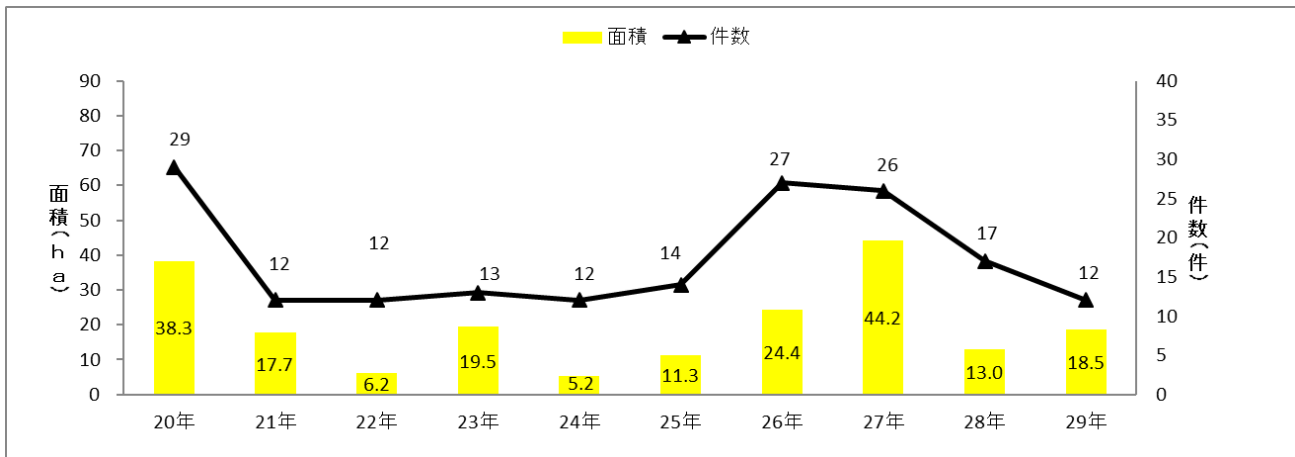


- 広島県では、件数が12件(17件)で対前年比29.4%減、面積が18.5ha(13.0ha)で同42.3%増となった。
- 中国地域における広島県の占める割合は、件数で25.5%、面積で26.9%となった。

<表6 広島県の立地件数及び立地面積の推移>

| 項目  | 20年  | 21年  | 22年 | 23年  | 24年 | 25年  | 26年  | 27年  | 28年  | 29年  | 前年比増減率 |
|-----|------|------|-----|------|-----|------|------|------|------|------|--------|
| 広島県 | 29   | 12   | 12  | 13   | 12  | 14   | 27   | 26   | 17   | 12   | ▲29.4  |
| 面積  | 38.3 | 17.7 | 6.2 | 19.5 | 5.2 | 11.3 | 24.4 | 44.2 | 13.0 | 18.5 | 42.3   |

<図6 広島県の立地件数及び立地面積の推移(件、ha)>

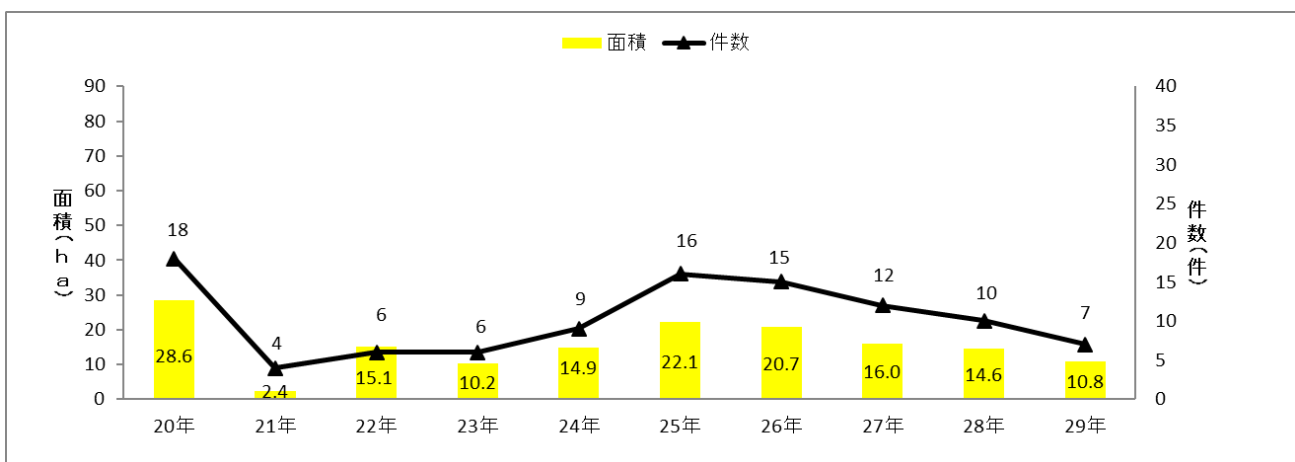


- 山口県では、件数が7件(10件)で対前年比30.0%減、面積が10.8ha(14.6ha)で同26.0%減となった。
- 中国地域における山口県の占める割合は、件数で14.9%、面積で15.7%となった。

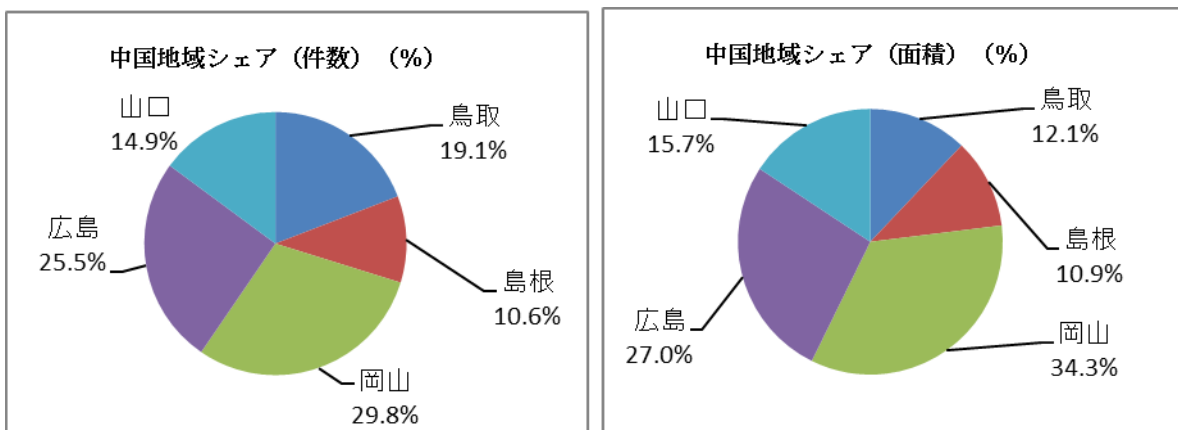
<表7 山口県の立地件数及び立地面積の推移(件、ha)>

| 項目  | 20年  | 21年 | 22年  | 23年  | 24年  | 25年  | 26年  | 27年  | 28年  | 29年  | 前年比増減率 |
|-----|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|--------|
| 山口県 | 18   | 4   | 6    | 6    | 9    | 16   | 15   | 12   | 10   | 7    | ▲30.0  |
|     | 28.6 | 2.4 | 15.1 | 10.2 | 14.9 | 22.1 | 20.7 | 16.0 | 14.6 | 10.8 | ▲26.0  |

<図7 山口県の立地件数及び立地面積の推移>



<図8 中国地域全体に占める5県の立地件数及び立地面積シェア>



(注) 四捨五入のため計算値と合計値が一致しない場合があります。

### 3. 業種別の立地件数及び立地面積

- 業種別の件数では、「食料品」が8件(10件)で最も多く、次いで「輸送用機械器具」が5件(6件)、「プラスチック製品」及び「業務用機械器具」が4件(10件、0件)
- 業種別の面積では、「食料品」の17.2ha(4.6ha)、「輸送用機械器具」の11.4ha(7.1ha)、「プラスチック製品」の7.3ha(15.2ha)の順となった。
- 「食料品」は全体のうち、件数で17.0%、面積で25.0%を占めた。また、県別件数では岡山県で3件(2件)、鳥取県、広島県でそれぞれ2件(2件、3件)、島根県で1件(1件)であった。県別面積では、岡山県が10.8ha(1.9ha)、鳥取県が3.5ha(0.8ha)、広島県が1.9ha(1.2ha)、島根県が1.1ha(0.3ha)であった。

<表8 業種別立地件数及び立地面積の推移 (件、ha)>

| 業種             | 27年 |       | 28年 |      | 29年 |      |
|----------------|-----|-------|-----|------|-----|------|
|                | 件数  | 面積    | 件数  | 面積   | 件数  | 面積   |
| 全業種合計          | 69  | 106.1 | 55  | 53   | 47  | 68.7 |
| 09 食料品         | 11  | 13.3  | 10  | 4.6  | 8   | 17.2 |
| 10 飲料・たばこ・飼料   | 2   | x     | 3   | 1.9  | 2   | x    |
| 11 繊維工業        | 0   | 0     | 1   | x    | 2   | x    |
| 12 木材・木製品(除家具) | 3   | 5.1   | 1   | x    | 1   | x    |
| 13 家具・装備品      | 0   | 0     | 1   | x    | 0   | 0    |
| 14 パルプ・紙・紙加工品  | 0   | 0     | 0   | 0    | 2   | x    |
| 15 印刷・同関連業     | 1   | x     | 2   | x    | 0   | 0    |
| 16 化学工業        | 3   | 3.5   | 2   | x    | 3   | 6.6  |
| 17 石油・石炭製品     | 0   | 0     | 0   | 0    | 0   | 0    |
| 18 プラスチック製品    | 6   | 9     | 10  | 15.2 | 4   | 7.3  |
| 19 ゴム製品        | 0   | 0     | 0   | 0    | 2   | x    |
| 20 なめし革・同製品・毛皮 | 1   | x     | 0   | 0    | 0   | 0    |
| 21 窯業・土石製品     | 0   | 0     | 0   | 0    | 0   | 0    |
| 22 鉄鋼業         | 1   | x     | 2   | x    | 2   | x    |
| 23 非鉄金属        | 0   | 0     | 1   | x    | 0   | 0    |
| 24 金属製品        | 20  | 34.2  | 4   | 0.8  | 1   | x    |
| 25 はん用機械器具     | 2   | x     | 3   | 2.3  | 0   | 0    |
| 26 生産用機械器具     | 8   | 5     | 5   | 4.2  | 3   | 1.2  |
| 27 業務用機械器具     | 0   | 0     | 0   | 0    | 4   | 3.3  |
| 28 電子部品・デバイス   | 0   | 0     | 0   | 0    | 2   | x    |
| 29 電気機械器具      | 1   | x     | 3   | 2.7  | 2   | x    |
| 30 情報通信機械器具    | 0   | 0     | 0   | 0    | 0   | 0    |
| 31 輸送用機械器具     | 8   | 7.6   | 6   | 7.1  | 5   | 11.4 |
| 32 その他の製造業     | 1   | x     | 1   | x    | 0   | 0    |
| 33 電気業         | 1   | x     | 0   | 0    | 3   | 3.1  |
| 34 ガス業         | 0   | 0     | 0   | 0    | 1   | x    |
| 35 熱供給業        | 0   | 0     | 0   | 0    | 0   | 0    |
| 71 学術・開発研究機関   | 2   | x     | 0   | 0    | 2   | x    |

(注1) 全業種合計には研究所(71 学術・開発研究機関)は含みません。

(注2) 面積は四捨五入のため計算値と合計値が一致しない場合があります。

(注3) 「x」は報告者の秘密保持のために秘匿にした箇所

## 4. 工業団地内への立地件数及び立地面積

- 工業団地内への立地件数は、29件(28件)、立地面積は、54.5ha(36.2ha)であった。
- 中国地域全体の件数47件(55件)に占める割合は61.7%(50.9%)と、全国平均40.6%と比べ高い水準となった。また、中国地域全体の面積68.7ha(53.0ha)に占める割合は79.3%(68.3%)となった。
- 各県の工業団地内への立地件数は、鳥取県が5件(7件)、島根県が2件(3件)、岡山県が10件(4件)、広島県が9件(7件)、山口県が3件(7件)であった。工業団地内への立地件数割合は、鳥取県が55.6%(77.8%)、島根県が40.0%(75.0%)、岡山県が71.4%(26.7%)、広島県が75.0%(41.2%)、山口県が42.9%(70.0%)であった。
- 中国地域に占める工業団地内への立地割合は、件数と面積ともに平成21年より9年連続で50%を上回った。

<表9 県別工業団地内立地件数及び立地面積の推移 (件、ha、%)>

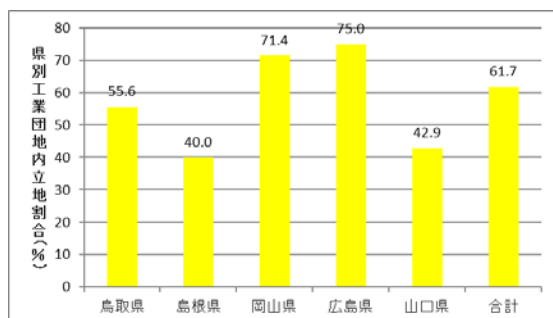
| 項目 | 21年     | 22年  | 23年  | 24年  | 25年  | 26年  | 27年  | 28年  | 29年  |      |
|----|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 中国 | 件数      | 17   | 17   | 32   | 22   | 28   | 42   | 47   | 28.0 | 29   |
|    | (比率)    | 56.7 | 56.7 | 64   | 55   | 56   | 52.5 | 68.1 | 50.9 | 61.7 |
|    | 面積      | 30.8 | 22.7 | 38.3 | 24   | 32.6 | 51.2 | 82   | 36.2 | 54.5 |
|    | (比率)    | 84.8 | 68.4 | 62.7 | 50.3 | 54.9 | 61.9 | 77.3 | 68.3 | 79.3 |
|    | 1件あたり面積 | 1.8  | 1.3  | 1.2  | 1.1  | 1.2  | 1.2  | 1.7  | 1.3  | 1.9  |

(注) 四捨五入のため計算値と合計値が一致しない場合があります。

<表10 県別工業団地内立地件数(件)>

| 項目    | 鳥取県 | 島根県 | 岡山県 | 広島県 | 山口県 | 合計 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 工業団地内 | 5   | 2   | 10  | 9   | 3   | 29 |
| 全立地件数 | 9   | 5   | 14  | 12  | 7   | 47 |

<図9 中国地域における工業団地内立地件数割合> <表11 工業団地内立地件数割合(件、%)>



| 項目 |       | 29年  |
|----|-------|------|
| 中国 | 団地内件数 | 29   |
|    | 全数    | 47   |
|    | (比率)  | 61.7 |
| 全国 | 団地内件数 | 418  |
|    | 全数    | 1030 |
|    | (比率)  | 40.6 |



## 5. 立地件数に占める新設又は増設の割合

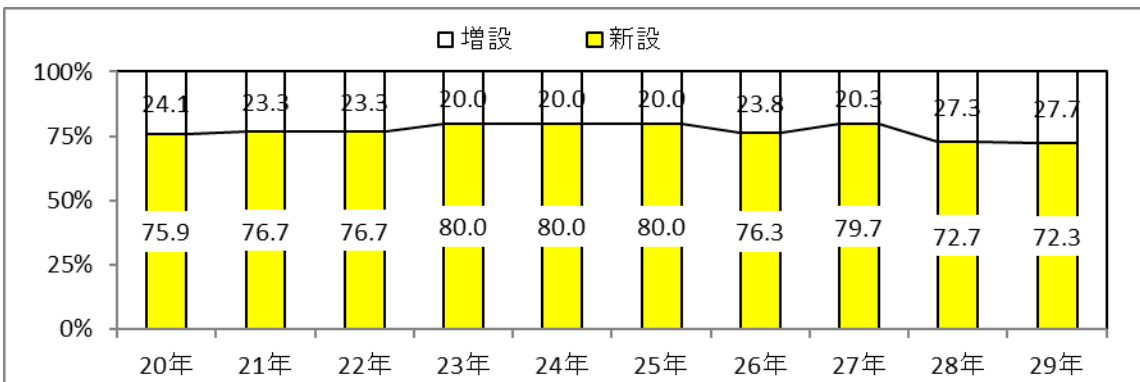
- 今期の立地件数47件のうち、新設件数が34件(40件)、増設件数が13件(15件)であった。
- 新設件数の割合は、72.3%(72.7%)となった。

<表12 立地件数に占める新設又は増設件数の推移(件)>

| 項目 | 23年 | 24年 | 25年 | 26年 | 27年 | 28年 | 29年 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 新設 | 40  | 32  | 40  | 61  | 55  | 40  | 34  |
| 増設 | 10  | 8   | 10  | 19  | 14  | 15  | 13  |

(注) 増設とは、既存の工場敷地に隣接して用地を取得した場合をいい、それ以外を新設といたします。

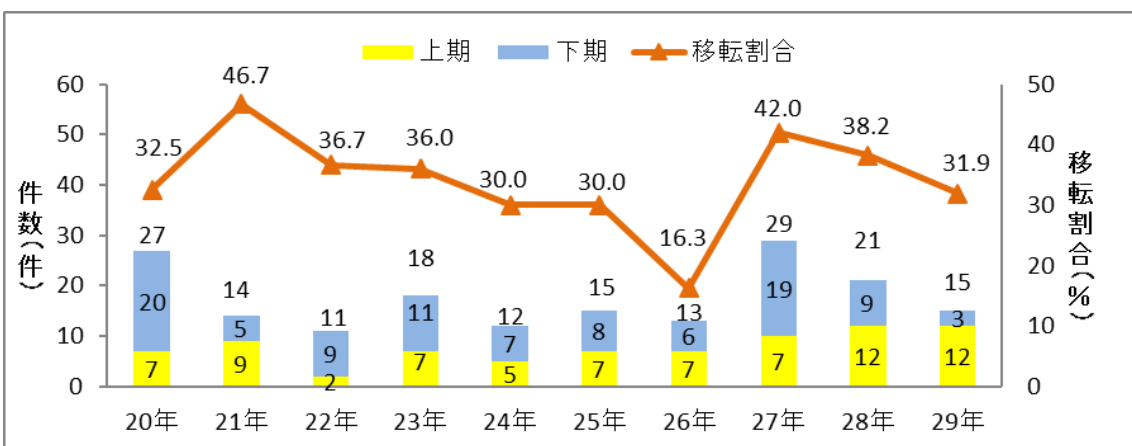
<図10 立地件数に占める新設・増設件数割合の推移>



## 6. 立地件数に占める移転割合

- 今期の立地件数47件のうち、移転による立地は、15件(21件)、移転でない立地は、32件(34件)であった。
- 今期の立地件数47件に占める移転割合は、31.9%(38.2%)となった。  
なお、移転は全て、中国地域内での移転であった。

<図11 立地件数に占める移転件数及び割合の推移>

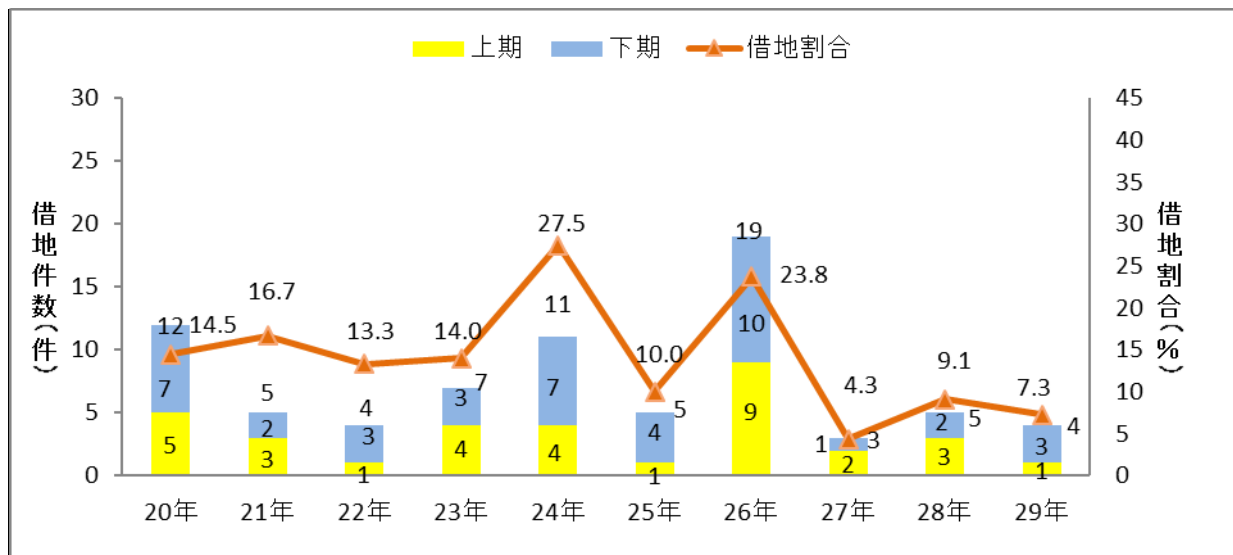


(注) 移転とは、既存の工場の全部又は一部を廃止し、別の工場敷地に工場を建設する場合をいいます。

## 7. 立地件数に占める借地割合

- 今期の立地件数47件のうち、借地による立地は4件(5件)であった。
- 今期の立地件数47件に占める借地割合は、7.3%(9.1%)となった。

<図12 立地件数に占める借地件数及び割合の推移>



## 参考－２． 予定設備投資額及び予定従業者数

- 今期の立地件数４７件のうち、予定設備投資額については、４５件の回答があり、１件あたり投資額は１，８７６百万円となった。
- 今期の立地件数４７件のうち、予定従業者数については、３３件の回答があり、１件あたり従業者数は３８人となった。

<表１３ 予定設備投資額及び予定従業者数の推移（百万円、人）>

| 項目     |           | 23年    | 24年    | 25年    | 26年    | 27年    | 28年    | 29年    |
|--------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 予定設備投資 | 回答企業数     | 49     | 36     | 38     | 49     | 60     | 53     | 45     |
|        | 投資額       | 70,919 | 47,792 | 55,854 | 49,079 | 61,106 | 48,289 | 84,434 |
|        | 1件あたり投資額  | 1,447  | 1,328  | 1,470  | 1,002  | 1,018  | 911    | 1,876  |
| 予定従業者数 | 回答企業数     | 38     | 30     | 36     | 60     | 52     | 42     | 33     |
|        | 従業者数      | 1,042  | 1,495  | 2,271  | 2,114  | 1,638  | 1,637  | 1,265  |
|        | 1件あたり従業者数 | 27     | 50     | 63     | 35     | 32     | 39     | 38     |

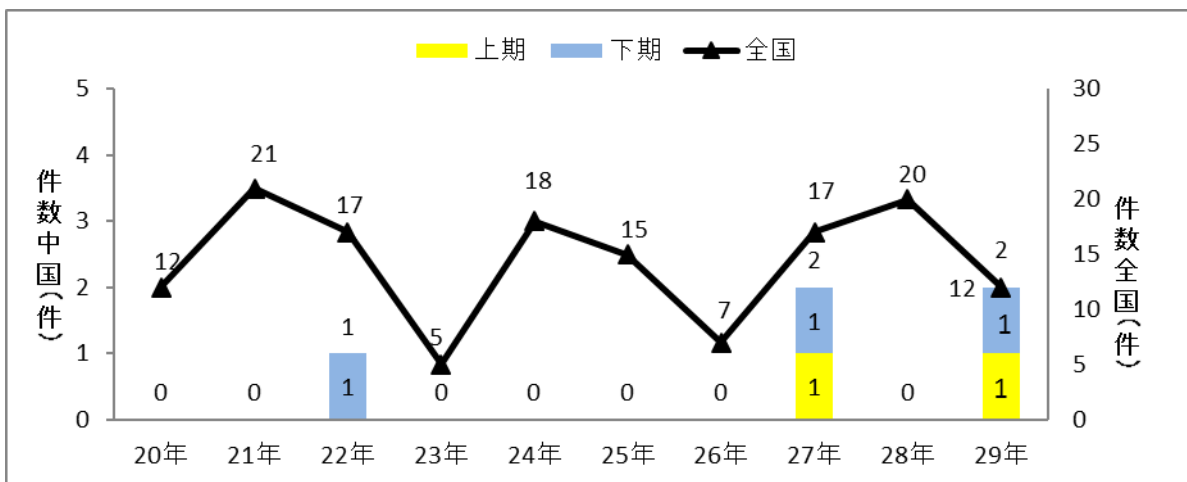
(注) 予定設備投資額及び予定従業者数は当該立地工場のみのもので将来計画を含みます。

(注) 回答のあった企業のみの数値です。

## 参考－３． 研究所

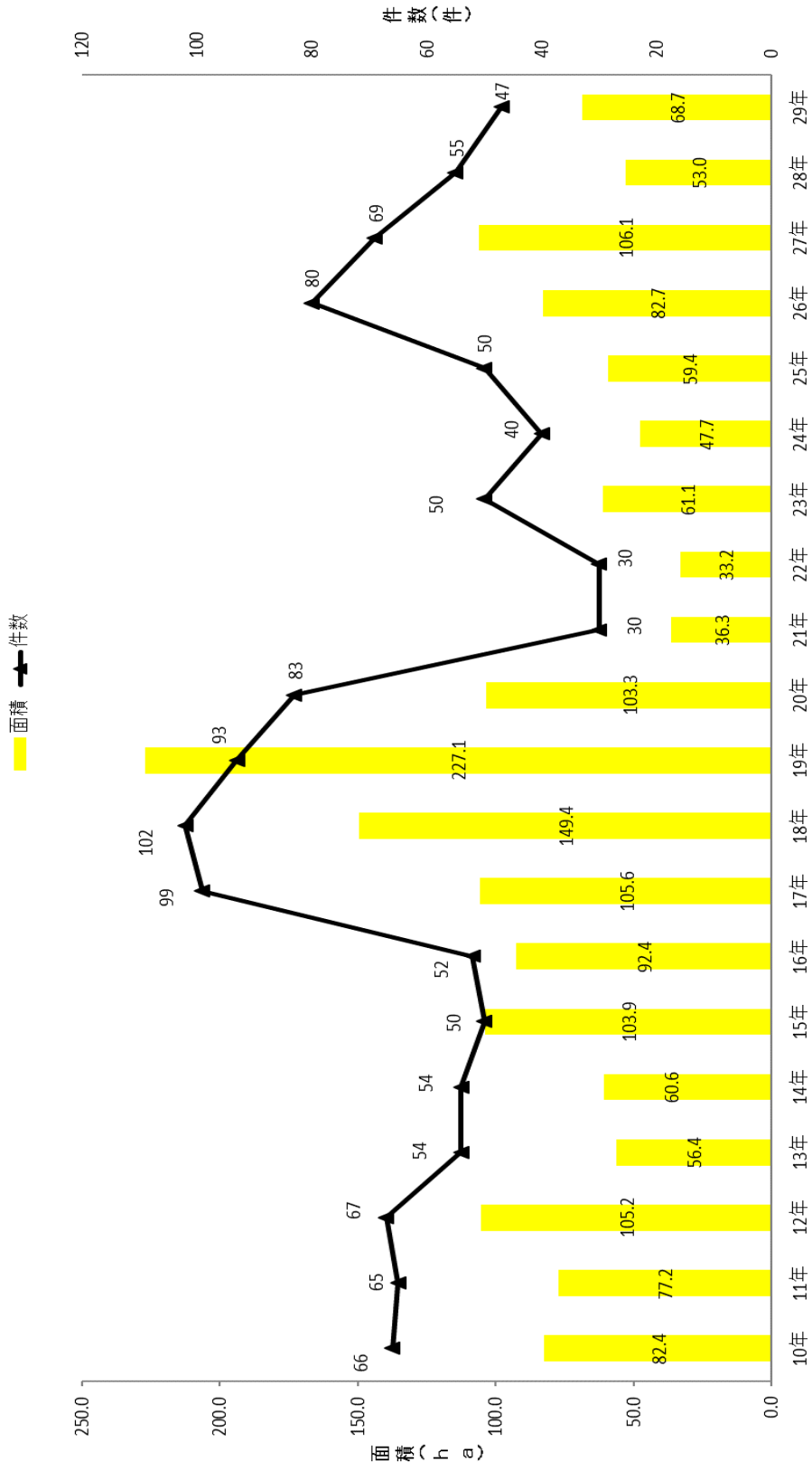
- 中国地域の平成２９年（１～１２月）の研究所の立地は２件（０件）であった。なお、全国の研究所立地件数は、１２件（２０件）で前年に比べ８件減少した。

<図１３ 研究所立地件数の推移>



参考-4. 中国地域における立地件数及び立地面積の推移

＜図14 中国地域の立地件数及び立地面積の推移＞



(注) 平成24年～平成26年については、電気業のうち、太陽光発電施設を除いた数値を再集計した。